

デジタルアーカイブと その社会的活用

第15回

立命館大学 映像学部講義
福田一史

<https://scrapbox.io/fukudakz/21デジタルアーカイブとその社会的活用>



manabaRにもリンクがあります

コンテンツ

1. グループワーク：発表日
2. クロージング

グループワーク：発表日

グループワークのテーマ（第13回より）

- 「**立命館大学ゲーム研究センター（RCGS）の所蔵資料の活用アイデア**」を各グループで策定し、発表してください。
 - RCGSが提供するメタデータの活用ではなく、資料現物・資料体の活用に着目すること（その際データを使ってはいけないということではない）。
- 発表内容には「**活用プラン**」「**対象者**」「**プランを実行する上での課題**」を含めてください。
- 想定される方向性：
 - 教育、研究／調査、情報発信、コミュニティづくり、など
- せっかく資料があるのだから「こんなことに使いたい!」「こんなことに使えれば喜ぶ人が多いに違いない!」という観点で発表内容を検討してください。

要領

- 発表時間：**7分（厳守）**
- スライドを一つのPDFにまとめました。それを画面共有します。
- スライドの操作は福田が担当。**次のページに進めたいときは、**
言ってください。

クロージング

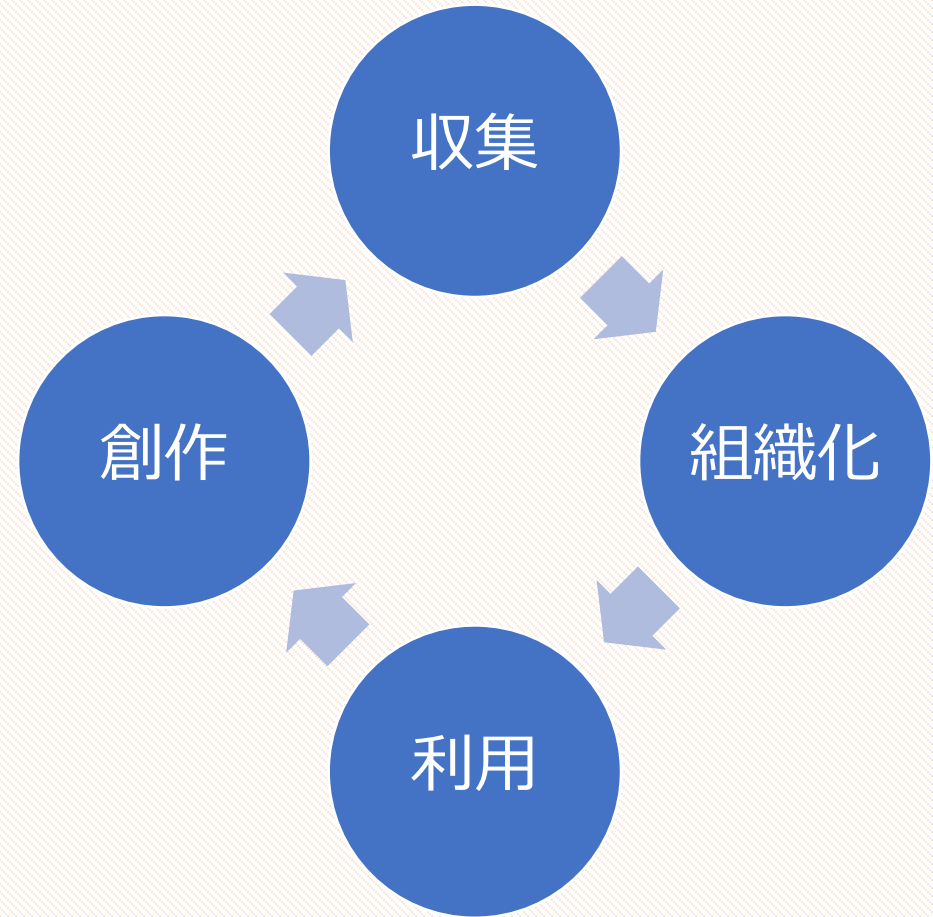
講義のまとめ

アーカイブとは

- アーカイブとは「**知を蓄積して利用できるようにする仕組み**ないしはそうしてできた**利用可能な知の蓄積**（根本, p. 9）」。
 - 根本彰. (2021). 「アーカイブの思想」. みすず書房.
- 一方で、デジタルアーカイブとは、前述のアーカイブのコンテンツを**デジタル化し、インターネットを用いて利用できるようにしたもの**と言える。

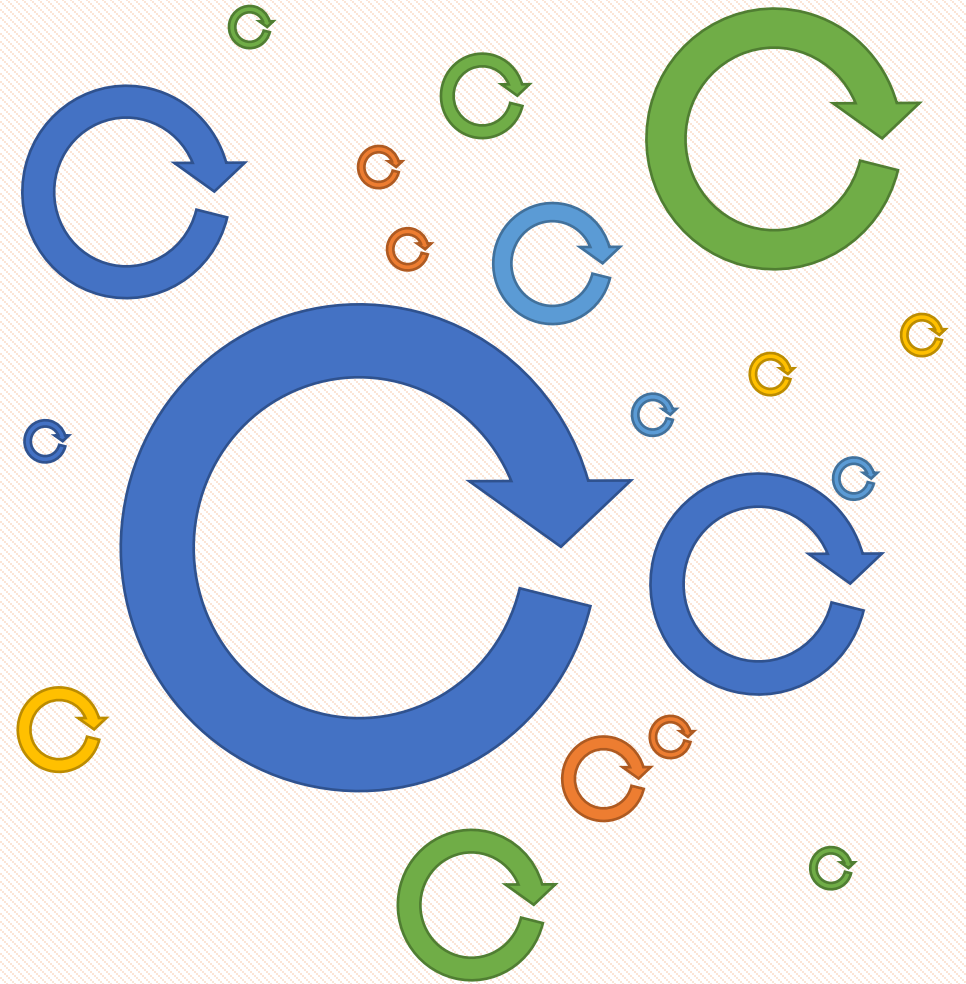
アーカイブと創作活動のサイクル

- アーカイブは、**創作物を収集・組織化し、利用されることで創作活動を創発**する、という右図で示されるような知のサイクルの一部を担うことで成立する。
- 伝統的なアーカイブでは、**図書館** (Library) ・ **博物館** (Museum) ・ **文書館** (Archives) が「収集」「組織化」「利用」において、重要な役割を担ってきた。



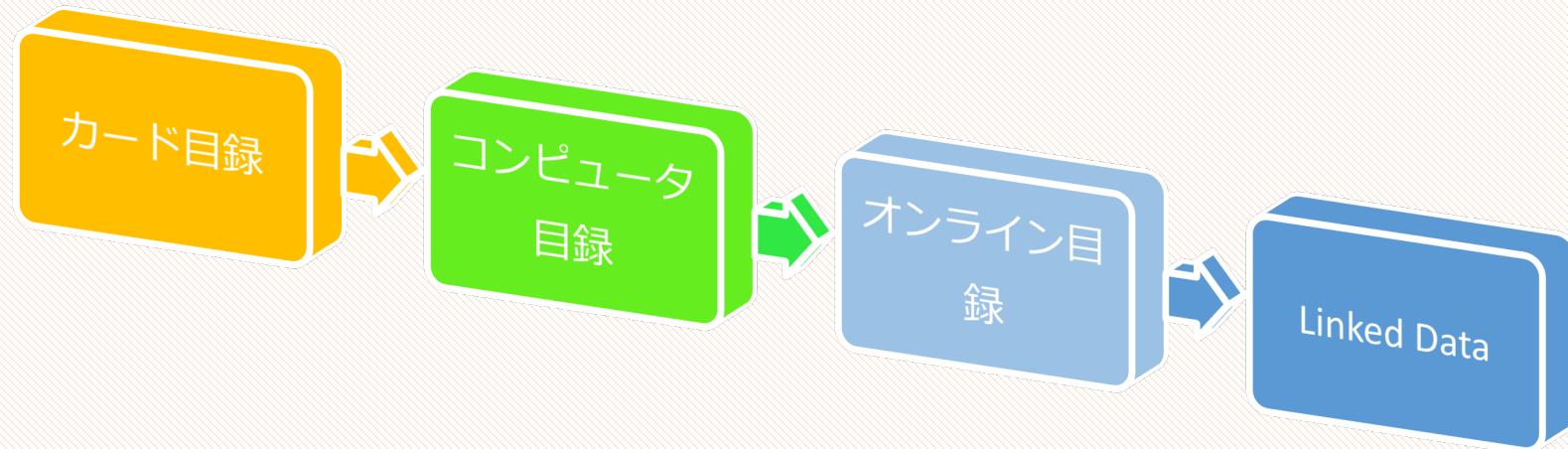
アーカイブにおける「デジタル」の意義

- デジタル技術以前には、**大規模だが少数のループ**が存在するだけだった。
- コンピュータとウェブの技術発展と普及により、**少ないコスト**でもアーカイブを構築・公開することが可能となり、多様なアーカイブが生じた。
- これらは偏在してはいるが、**まとめ役**及び**ポータルサービス**や、**検索エンジン**が集約し、その窓口となっている。



アーカイブにおける「デジタル」の意義

- コンピュータ技術とインターネット技術を用いることで、アーカイブの**アクセシビリティ**が圧倒的に向上した。
- ただし、**真正性**という観点ではデジタルアーカイブには限界はある。データだけでは**「裏付け」として弱い**。資料現物のアーカイブとデジタル・アーカイブを相互補完的に用いる必要性がある。



現代社会におけるアーカイブの機能

- インターネットの普及で、よりうつろいややすい世の中になりつつある。そのような中で、「**空気を読む**」ことや「**コミュニケーション能力**」が重視される傾向が社会的に強まっている？
 - ただし、それはその場しのぎで一貫性の無い行動を助長する
 - もしくは、近視眼的反応（反射）で社会の言説が構成される
- 後から振り返って証拠となりえるモノやデータを整理し残すこと、さらにそれらを利用可能なものとするにより、アーカイブは構築され、知的基盤となる。
- それを用いることで、長期的な視座やそれに基づく社会課題の解決法を構築することにつながる。